

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野		人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策		事業番号、事業名		14 急傾斜地崩壊対策		補助・単独別		補助		建設部		砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 〔市町村名〕	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針				
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況							
1	ころひし 転石 (川上村)	落石防護補強土 擁壁工 L=524m もたれ式擁壁工 L=60m 〔工期：H20～H27〕	落石防護補強土 擁壁工 L=140m	落石防護補強土 擁壁工 L=55m	落石防護補強土 擁壁工 L=344m	評価時 (当初) H20	55.0%	計画通り進んでいる 擁壁工を引き続き実施する。	過去に土砂流出が 発生しており、治山事 業と一体となって対策 を実施し、早期の完成 を図っている。保全対 象の重要度も高いた め事業進捗を図って いく。	重要性が高く、緊 急性も認められる。	「継続」				
						必要性 B						特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=3.74			
						重要性 A									
						効率性 A									
	4億円	1億555万6千円	5000万円	1億7982万4千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。									
2	あかさか 赤坂 (川上村)	重力式擁壁工 L=181m 連続繊維補強土工 A=4,944m2 〔工期：H22～H26〕	重力式擁壁工 L=60m	重力式擁壁工 L=80m	重力式擁壁工 L=121m 連続繊維補強土工 A=4,944m2	評価時 (当初) H22	18.7%	計画通り進んでいる 擁壁工を引き続き実施する。	保全対象には人家 9戸、防災拠点である 役場、公民館などがあ り、H19年には小崩落 が発生するなど災害 履歴もあるため、早急 に対策が必要である。	重要性が高く、緊 急性も認められる。	「継続」				
						必要性 B						特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=8.32			
						重要性 A									
						効率性 A									
	3億円	4400万6千円	5000万円	2億4403万4千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。									
3	あなざわ 穴沢 (上田市)	重力式擁壁工 L=214m 連続繊維補強土工 L=163m A=1,814m2 〔工期：H21～H24〕	重力式擁壁工 L=80m 連続繊維補強土 L=40m A=450m2	連続繊維補強土 L=60m A=670m2	連続繊維補強土 L=60m A=670m2	評価時 (当初) H21	76.1%	計画通り進んでいる 擁壁工を引き続き実施する。	避難所が土砂災害 防止法に関わる、急 傾斜地の特別警戒区 域となることから、早 期に対策を行い、周 辺住民に対しては土 砂災害からの早期避 難を促すことで、ソフト 対策と連携した減災 対策を行う。	緊急性が認められ る。	「継続」				
						必要性 B						特記事項 H24：H23追加補正により事業促進が図られたことから、H24で 事業完了する。 B/C(費用対効果)=5.13			
						重要性 B									
						効率性 A									
	1億2556万9千円	5456万9千円	3000万円	3000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。									

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別	補助	建設部	砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
4	さきい 笹井 (上田市)	連続繊維補強土工 L=400m A=8,600m ² (工期:H20~H24)	連続繊維補強土工 L=70m A=2,750m ²	連続繊維補強土工 L=30m A=300m ²	連続繊維補強土工 L=30m A=300m ²	評価時 (当初) H20	90.6%	連続繊維補強土工を引き続き実施する。	笹井公民館(避難所)、消防団倉庫といった防災上重要な施設が存在し、保全家も25戸と多い。落石もあるため地元からの要望が非常に強く、引き続き対策を行い平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24:H23の事業促進に伴いH24をもって事業完了する。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=4.35				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
5	小岩門 (上田市)	斜面安定工 L=350m A=12,300m ² (工期:H21~H27)	地元協議	斜面安定工 L=30m A=500m ²	斜面安定工 L=350m A=12,300m ²	評価時 (当初) H21	6.8%	設計の定着に時間を要している。H24は早期に地元同意を得て、事業の進捗を図る。	保全対象に災害時要援護者施設となる病院があり、民家は29戸ある。斜面には小崩落によるオーバーハングが見られるため、早期の対策を行う必要がある。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=3.55				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
6	国分 (上田市)	待受け擁壁工 L=237m 連続繊維補強土工 L=119m (工期:H22~H25)	詳細設計 1式	待受け擁壁 L=83m	待受け擁壁 L=237m 連続繊維補強土工 L=119m	評価時 (当初) H22	13.0%	計画どおり進んでいる。H24から工事を着手する。	保全対象には人家17戸、災害時要援護者施設である国分保育園、避難路の市道などがあり、落石が発生するなど災害履歴もあるため、早急に対策が必要である。	必要性、重要性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=7.63				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
		1億円	399万円	1500万円	8698万円	緊急性 B					

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
7	あまの 島沢 (岡谷市)	吹付法枠工 L=410m A=8,200m2 擁壁補修工 1式 (工期:H22~H26)	詳細設計 1式 地質調査 1式	用地補償 1式 擁壁補修工 1式	吹付法枠工 L=410m A=8,200m2	評価時 (当初) H22	20.0%	計画どおり進んでいる。 H24から工事を着手する。	保全人家に20戸の ほか、避難路である県 道がある。斜面には 小崩落も見られ、早期 に対策を行う必要が ある。	重要性が認められ る。	「継続」	
		1億5000万円	1262万1千円	1000万円	1億1999万2千円	必要性 B	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=6.15				
						重要性 A						
						効率性 A						
					緊急性 B	住民参加状況等 特になし。						
8	あまの 大熊 (諏訪市)	連続繊維補強土工 L=280m A=11,500m2 (工期:H20~H26)	連続繊維補強土 工 L=30.0m A=2,200m2	連続繊維補強土 工 L=40.0m A=2,200m2	連続繊維補強土工 L=196m A=6,599m2	評価時 (当初) H20	42.5%	連続繊維補強土工を引き続き実施する。	がけは急勾配で民 家に近接している。通 学路を保全対象として おり、平成18年7月豪 雨の記憶の新しい住 民からは強い要望が ある。早期の対策が 必要である。	重要性、緊急性が 認められる。	「継続」	
		3億円	5032万6千円	5000万円	1億7247万3千円	必要性 B	特記事項 特になし。	B/C(費用対効果)=3.30				
						重要性 A						
						効率性 A						
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
9	じんたい 神代 (富士見町)	吹付法枠工 L=365m A=2,900m2 重力式擁壁工 L=225m もたれ式擁壁工 L=58m (工期:H20~H26)	吹付法枠工 L=27.3m A=366m2 擁壁工 L=60m	吹付法枠工 L=30m A=400m2 もたれ式擁壁工 L=30m	吹付法枠工 L=150m A=1,339m2 重力式擁壁工 L=125m もたれ式擁壁工 L=58m	評価時 (当初) H20	65.2%	吹付法枠工、擁壁工を引き続き実施する。	がけは急勾配で民 家に近接している。避 難所となる神代公民 館、重要路線である国 道20号を保全対象とし ており、平成18年7月 豪雨の記憶の新しい 住民からは強い要望 がある。早期の対策 が必要である。	重要性、緊急性が 認められる。	「継続」	
		2億7000万円	8615万円	5000万円	9406万9千円	必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年延長	B/C(費用対効果)=2.50				
						重要性 A						
						効率性 A						
					緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策			補助・単独別	補助	建設部	砂防課
----	------------------------	----------	-------------	--	--	--------	----	-----	-----

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
10	しんめいたんちした 神明団地下 (伊那市)	連続繊維補強土工 L=760m A=14,000m2 (工期:H17~H26)	連続繊維補強土工 L=20m A=550m2	連続繊維補強土工 L=40m A=850m2	連続繊維補強土工 L=200m A=2,000m2	評価時 (変更) H24	87.8%	H24は連続繊維補強土工を実施する。	斜面崩壊の履歴があり危険性が高い。また、保全対象の小学校は避難所にもなっており重要性も高い。事業については地元との連携も行っており、今後も進捗を図る必要がある。	追加対策の必要性が認められる。予定工期内の完了を図る。	「拡大」
						必要性 B	特記事項 H24変更:延長172m増、事業費1億円増、工期2年延長 精査の結果、近隣地域を含めた一体の区域対策工事が必要と認められたため、計画区域を追加した。				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=4.19				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
11	やまてつえ 山寺上 (伊那市)	連続繊維補強土工 L=250m A=7,500m2 (工期:H23~H27)	地形測量 1式 地質調査 1式 詳細設計 1式	用地測量 1式 物件調査 1式 物件・立木補償 1式	連続繊維補強土工 L=250m A=7,500m2	評価時 (当初) H23	4.9%	H24は連続繊維補強土工を実施する。	保全対象には人家14戸、避難所である伊那北高校があり、小崩壊が発生するなど災害履歴もあるため、早急に対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=8.99				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
12	あまたぎり 太田切 (駒ヶ根市)	重力式擁壁工 L=450m 吹付法枠工 L=430m A=2,150m (工期:H23~27)	詳細設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 重力式擁壁工 L=140m	重力式擁壁工 L=450m 吹付法枠工 L=300m A=1,500m	評価時 (当初) H23	3.5%	計画通り進んでいる。	保全対象に人家33戸、災害時要援護者施設がある。斜面には不安定な浮石も見られ、近年は落石も発生しており、早期に対策を行う必要がある。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=8.22				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
						緊急性 A					

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策			補助・単独別		補助	建設部	砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
13	あのみかわら 小野中村 (辰野町)	重力式擁壁工 L=419m 連続繊維補強土工 A=1,093m2 (工期:H19~H24)	重力式擁壁工 L=140m	重力式擁壁工 L=9.8m	重力式擁壁工 L=9.8m	評価時 (当初) H19	96.8%	計画通り進んでいる。 H24年度完成。	平成18年7月の豪雨により不安定化した斜面は、今後の降雨等により更なる崩壊が発生する可能性が高く緊急性が高い。同規模の斜面崩壊による人家への被災を、最小限に止めるための対策が必要であり、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H18災害関連緊急急傾斜地崩壊対策事業を実施				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.11				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
14	みやとこる 宮所 (辰野町)	重力式擁壁工 L=500m (工期:H23~H26)	地形測量 1式 地質調査 1式 詳細設計 1式	埋文調査 1式 物件調査 1式 重力式擁壁工 L=40m	重力式擁壁工 L=500m	評価時 (当初) H23	9.0%	計画通り進んでいる。	保全対象には人家18戸、災害時要援護者施設等がある。斜面は小崩壊が発生するなど、早期に対策を行う必要である。	重要性が高く、必要性、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=7.55				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
15	とば 渡場 (中川村)	もたれ式擁壁工 L=40m 連続繊維補強土工 L=300m A=6700m2 (工期:H19~H26)	連続繊維補強土工 L=70m A=2000m2	連続繊維補強土工 L=50m A=1800m2	もたれ式擁壁工 L=40m 連続繊維補強土工 L=200m A=3,100m2	評価時 (当初) H19	70.4%	H24は連続繊維補強土工を実施する。	平成18年7月豪雨により崩壊した斜面は、不安定となっており緊急性が高い。また、地形地質が同一の周辺斜面についても次期降雨による崩壊の危険性が高く、人家への直接的な被害の可能性があるため、早期な対策が必要である。	緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年延長				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=2.29				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
					緊急性 A						

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
16	はば 羽場2号 (飯田市)	重力式擁壁工L=30m もたれ式擁壁工 L=170m 崩壊土砂防止柵工 L=80m (工期:H22~H26) 2億円	重力式擁壁工 L=30m	もたれ式擁壁工 L=170m 崩壊土砂防止柵工 L=80m	-円	1億5791万2千円	評価時 (変更) H24	21.0%	H24はもたれ式擁壁工を実施する。	保全対象には人家 13戸、避難路となる市 道や災害時要援護者 施設があり、災害履歴 もあるため、早急に対 策が必要である。	重要性が高く、必 要性、緊急性も認め られる。	「継続」
							必要性 A	特記事項 H24変更:現地精査の結果により、擁壁工・崩壊土砂防止柵工 を追加、事業費5千万円増、工期1年延長				
							重要性 A	予算割当出来次第実施予定				
							効率性 A	B/C(費用対効果)=3.66				
							緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
17	かみやま 上山 (飯田市)	連続繊維補強土工 L=420m A=9,500m2 (工期:H21~H26) 2億2000万円	連続繊維補強土工 L=50m A=2,000m2	連続繊維補強土工 L=50m A=1,200m2	3000万円	1億1230万円	評価時 (変更) H24	49.0%	H24は連続繊維補強土工を実施する。	災害時要援護者施 設である保育所を保 全対象にかかえてい るうえ、土砂災害防止 法に関わる急傾斜の 特別警戒区域にかか る人家があり、地元か らの要望も高いことか ら、早期に対策を行 う。	新たな事業区域に 対する追加対策の必 要性が認められる。 予定工期内での完 了を図る。	「拡大」
							必要性 A	特記事項 H24変更:連続繊維補強土工L=240m増、事業費7千万円増、工期 延長2年延長				
							重要性 A	精査の結果、近隣地域を含めた一体の区域対策工事が必要と 認められたため、計画区域を追加した。				
							効率性 A	B/C(費用対効果)=3.88				
							緊急性 B	住民参加状況等 特になし。				
18	ひがし 東飯沼 (飯田市)	重力式擁壁工 L=550m (工期:H23~H27) 3億円	測量調査 1式 地質調査 1式	詳細設計 1式 用地測量 1式	1000万円	2億8603万5千円	評価時 (当初) H23	4.7%	計画通り進んでいる。	保全対象には人家 22戸、JR飯田線等が ある。近年は落石が 発生しており、早急に 対策が必要である	重要性が高く、緊 急性も認められる。	「継続」
							必要性 B	特記事項 特になし。				
							重要性 A	B/C(費用対効果)=3.91				
							効率性 A					
							緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
19	みらい 南条 (飯田市)	擁壁工 L=580m 法面工 L=580m (工期:H23~H27)	地形測量 1式 予備設計 1式	詳細設計 1式 用地測量 1式 用地補償 1式	擁壁工・法面工 L=580m	評価時 (当初) H23	2.9%	H24は、詳細設計、用地測量、用地補償を実施する。	保全対象には人家36戸、災害時要援護者施設である上郷南保育園等がある。近年は落石が発生しており、早急に対策が必要である。	必要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=4.02				
						重要性 B					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										
20	うめだいら 梅平 (飯田市)	擁壁工 L=160m 吹付法枠工 A=500m2 崩壊土砂防止柵工 L=100m (工期:H19~H27)	崩壊土砂防止柵工 L=16m	吹付法枠工 A=370m2	擁壁工 L=100m 吹付法枠工 A=500m2 崩壊土砂防止柵工 L=50m	評価時 (変更) H24	39.0%	H24は崩壊土砂防止柵工を実施する。	過去に落石被害があり緊急性が高く、地元からの要望も強いいため、継続して事業を行う。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:工期3年延長、工種変更 B/C(費用対効果)=2.34				
						重要性 A					
						効率性 B					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										
21	ぬくた 温田 (泰阜村)	連続繊維補強土工 L=80m 法枠補修工 L=160m 厚層基材吹付工 L=80m もたれ式擁壁工 L=40m (工期:H22~H26)	連続繊維補強土工 L=40m	連続繊維補強土工 L=10m	連続繊維補強土工 L=40m 法枠補修工 L=160m 厚層基材吹付工 L=80m もたれ式擁壁工 L=40m	評価時 (当初) H22	17.1%	計画通り進んでいる。	保全対象には人家22戸、避難路となる県道などがあり、斜面には小崩壊も見られ、早急に対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=4.19				
						重要性 A					
						効率性 A					
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。										

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針		
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況					
22	せいらいじあおひら 清内路大平 (阿智村)	重力的擁壁 L=238m (工期: H22 ~ H25)	測量設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式 重力的擁壁 L=60.0m	重力的擁壁 L=238m	評価時 (当初) H22	8.2%	計画通り進んでいる。	保全対象には人家 17戸、避難路となる村 道などがあり、H19年 には小崩壊が発生す るなど災害履歴もある ため、早急に対策が 必要である。	重要性が高く、緊 急性も認められる。	「継続」		
						必要性 B						特記事項 特になし。	
						重要性 A							B/C(費用対効果)=5.28
						効率性 A							
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。												
23	こわき 小脇 (上松町)	重力的擁壁工 L=420m 落石防護柵工 L=450m 法面保護工 L=45m A=1,100m2 (工期: H19 ~ H26)	重力的擁壁工 L=35m 落石防護柵工 L=33m	重力的擁壁工 L=110m 落石防護柵工 L=110m	重力的擁壁工 L=300m 落石防護柵工 L=334m 法面保護工 L=45m A=1,100m2	評価時 (当初) H19	44.0%	計画通り進んでいる。	斜面の状況が不安 定で、花崗岩の風化 が顕著でマサ化が進 んでおり、転石が多く 小規模な崩壊や落石 があるため、対策が必 要である。	重要性、緊急性が 認められる。	「継続」		
						必要性 B						特記事項 特になし。	
						重要性 A							B/C(費用対効果)=3.38
						効率性 A							
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。												
24	いやごう 伊谷2号 (木曾町)	重力的擁壁工 L=300m 崩落土砂防止柵工 L=430m 法面保護工 L=50m A=720m2 (工期: H22 ~ H30)	重力的擁壁工 L=30m	用地測量 1式 用地補償 1式 崩落土砂防止柵 工 L=42m	重力的擁壁工 L=270m 崩落土砂防止柵工 L=430m 法面保護工 L=50m A=720m2	評価時 (変更) H24	7.2%	H24は崩落土砂防止柵工を実施する。	保全対象に人家46 戸、避難路である県道 がある。斜面には不 安定な浮石も見られ、 H18年には落石も発生 したため、早期に対策 を行う必要がある。	近接の崩壊に対す る追加対策の必要 性が認められる。	「拡大」		
						必要性 B						特記事項 H24変更: 延長256m増、事業費4.5億円増、工期4年増 精査の結果、近隣地域も含めて崩壊対策を行う必要が認めら れたため、計画区域を追加した。	
						重要性 A							B/C(費用対効果)=2.81
						効率性 B							
緊急性 A	住民参加状況等 特になし。												

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部 砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
25	はしば 橋場 (松本市)	落石予防工 A=4,248㎡ 崩落土砂防止柵工 L=270m 〔工期：H17～H24〕	崩落土砂防護柵工 L=70m	落石土砂防護柵工 L=56m	落石土砂防護柵工 L=56m	評価時 (当初) H17	95.1%	計画どおり進んでいる。 平成24年度に工事完成を図る。	保全対象範囲に人家が多く、災害履歴があることや地元による自主防衛措置も実施されていることから、必要性・緊急性が高いため、平成24年度完了を図る。	平成24年度での完了を図る。	「継続」	
						必要性 B						特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=4.90
						重要性 A						
						効率性 A						
	4億1043万2千円	9014万9千円	2000万円	2000万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
26	ありがき 蟻ヶ崎 (松本市)	擁壁工L=350m 〔工期：H23～H26〕	関係機関協議	関係機関協議	擁壁工L=350m	評価時 (当初) H23	0.0%	引き続き、関係機関と協議を行う。	保全対象範囲に人家が多く、災害履歴があることや地元による自主防衛措置も実施されていることから、必要性・緊急性が高い。都市公園法指定解除の協議中のため、平成24年度は休止とする。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「休止」	
						必要性 A						特記事項 事業箇所に都市公園法が指定されており、その指定解除の協議に時間を要するため、当面休止とする。 B/C(費用対効果)=4.90
						重要性 A						
						効率性 A						
	2億円	0円	0円	2億円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						
27	かみちげだ 上竹田 (山形村)	重力式擁壁工 L=220m 落石防護柵工 L=220m 〔工期：H23～H26〕	測量調査 1式 詳細設計 1式	用地測量 1式 用地補償 1式	重力式擁壁工 L=220m 落石防護柵工 L=220m	評価時 (当初) H23	6.7%	計画通り進んでいる。	保全対象には、人家3戸災害時要援護者施設である特別養護老人ホーム ピアやまがたがある。近年には落石が発生しており、早急に対策が必要である。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」	
						必要性 A						特記事項 特になし。 B/C(費用対効果)=9.36
						重要性 A						
						効率性 A						
	1億5000万円	999万6千円	1000万円	1億4000万4千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。						

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課	
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針	
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況				
28	まぐらさかこまほらば 桜坂小瀬幅 (安曇野市)	重力式擁壁工 L=439m 崩落土砂防止柵工 L=417m 〔工期：H21～H27〕	重力式擁壁工 L=30m 崩落土砂防止柵工 L=85m	崩落土砂防止柵工 L=85m	重力式擁壁工 L=409m 崩落土砂防止柵工 L=332m	評価時 (当初) H21	44.1%	計画通り進んでいる。	がけ下には多くの保 全人家が存在して おり、斜面は大規模で ひとたびがけ崩れが 発生すれば避難路も塞 がれ、被害が甚大に なる可能性がある。地 元の受け入れ態勢が 整っているため早期に 対策を行う。	重要性、緊急性が 認められる。	「継続」	
						必要性 B	B/C(費用対効果)=6.60					特記事項 特になし。
						重要性 A						
						効率性 A						
						緊急性 A						
29	やしろえきうら 屋代駅裏 (千曲市)	重力式擁壁工 L=300m 落石防護柵工 L=100m 〔工期：H23～H28〕	測量設計 1式	落石防護柵工 L=100m	重力式擁壁工 L=300m 落石防護柵工 L=100m	評価時 (当初) H23	3.3%	計画通り進んでいる。	保全対象には人家 21戸、災害時要援護 者である満照寺保育 園等がある。H16年 には斜面に小崩落が 発生するなど災害履 歴もあるため、早急 に対策が必要である。	必要性、緊急性が 認められる。	「継続」	
						必要性 A	B/C(費用対効果)=3.01					特記事項 特になし。
						重要性 B						
						効率性 A						
						緊急性 A						
30	にしながの 西長野 (長野市)	吹付法枠工 L=100m 〔工期：H22～H25〕	詳細設計 1式	吹付法枠工 L=30m	吹付法枠工 L=100m	評価時 (当初) H22	10.4%	H24は吹付法枠工を実施する。	保全対象に人家38 戸、避難路である市 道がある。斜面には 不安定な浮石も見ら れ、落石も発生して いるため、早期に対 策を行う必要がある。	予定工期内の完了 を図る。	「継続」	
						必要性 B	B/C(費用対効果) = 11.17					特記事項 H24変更：工期2年延長
						重要性 B						
						効率性 A						
						緊急性 A						

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
31	ふかざわ 深沢 (飯網町)	連続繊維補強土工 L=320m A=8,690m2 (工期:H21~H25)	連続繊維補強土工 L=140m A=4,000m2	-	連続繊維補強土工 L=180m A=4,690m2	評価時 (変更) H24	57.0%	H24は連続繊維補強土工を実施する。	避難所および重要 路線となる国道18号 が保全対象となっており、斜面には小崩落に 伴うオーバーハングも 見られることから、早 期に対策を行う必要 がある。	予定工期内の完 了を図る。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:現地精査の結果により、延長70m増、事業費9千万 増、工期1年延長				
						重要性 A	予算割当出来次第実施予定				
						効率性 A	B/C(費用対効果)=3.51				
	2億4000万円	1億200万円	-円	1億320万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
32	いなり 稲荷 (高山村)	崩壊土砂防止柵工 L=96m 重力式擁壁工 L=156m (工期:H21~H25)	崩壊土砂防止柵工 L=30m	崩壊土砂防止柵工 L=96m 重力式擁壁工 L=46m	崩壊土砂防止柵工 L=66m 重力式擁壁工 L=97m	評価時 (当初) H21	53.8%	計画通り進んでいる。	斜面は脆弱な地質 であり、一部で崩壊し ており、倒木・浮石も ある。倒木による家屋 への被害を未然に防 ぐため、住民により一 部斜面の立木が伐採 されているなど、早期 な対策が必要である。	重要性・緊急性が 認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.59				
						効率性 A					
	3億2000万円	8369万2千円	1億円	1億4771万3千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
33	しんぼり 新城 (高山村)	重力式擁壁工 L=250m (工期:H23~H27)	地形測量 1式 地質調査 1式 詳細設計 1式	重力式擁壁工 L=80m	重力式擁壁工 L=170m	評価時 (当初) H23	6.9%	H24は重力式擁壁工を実施する。	保全対象には人家 12戸、災害時要援護 者施設である山上小 児科等がある。近年 は落石が発生して おり、早急に対策が必要 である。	重要性が高く、必 要性、緊急性も認め られる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更:工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.15				
						効率性 A					
	2億5000万円	1725万3千円	3000万円	2億3274万7千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
34	よこゆ 横湯 (山ノ内町)	重力式擁壁工 L=110m 連続繊維補強土工 A=2,170m ² (工期: H21 ~ H26)	詳細設計 1式 用地測量 1式	重力式擁壁工 L=20m 連続繊維補強土工 A=1500m ²	重力式擁壁工 L=110m 連続繊維補強土工 A=2,170m ²	評価時 (当初) H21	23.0%	計画通り進んでいる。	斜面は過去の崩落土で地質的に脆弱であるため、崩落の跡が多数ある。また、斜面下には温泉街が立地しているため、地域の安全を確保すると共に観光産業の振興も図り、早期に対策を実施する必要がある。	重要性・緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	B/C(費用対効果)=12.53				
						重要性 A					
						効率性 A					
		1億2000万円	344万4千円	4000万円	9241万6千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
35	ひらたき 平滝 (栄村)	吹付法砕工 L=300m A=7,500m ² アンカー工N=120本 連続繊維補強土工 A=1,503m ² (工期: H21 ~ H26)	吹付法砕工 A=900m ² アンカー工 N=120本 連続繊維補強土工 A=1,500m ²	吹付法砕工 A=550m ²	吹付法砕工 A=2,560m ²	評価時 (当初) H21	79.3%	計画通り進んでいる。	斜面には小崩壊がいたるところにあり、上部の斜面滑落により人家の基礎部に被害が出ている。上部の国道は地域の重要路線でもあり、地元の要望も強いいため、早期に対策を行う。	重要性・緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	B/C(費用対効果)=1.07				
						重要性 A					
						効率性 B					
		3億円	1億9400万円	4000万円	6200万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				
36	ながせ 長瀬 (栄村)	吹付法砕工 L = 150m A = 5,000m ² (工期: H22 ~ H28)	関係機関協議	関係機関協議	吹付法砕工 L = 150m A = 5,000m ²	評価時 (当初) H22	10.0%	引き続き、関係機関と協議を行う。	斜面には小崩壊がいたるところにあり、上部の斜面滑落により人家の基礎部に被害が出ている。上部の国道は地域の重要路線でもあり、地元の要望も強いいため、早期に対策を行う必要があるが、施工範囲調整中のため、H24は休止とする。	重要性・緊急性は認められる。	「休止」
						必要性 C	B/C(費用対効果)=1.07				
						重要性 A					
						効率性 A					
		1億5000万円	0円	0円	1億3500万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。				

番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
37	とりで 取出 (松本市)	重力的擁壁工 L=313m (工期:H21~H28)	詳細設計 1式	重力的擁壁工 L=60m	重力的擁壁工 L=313m	評価時 (当初) H21	6.6%	H24は重力的擁壁工を実施する。	斜面にはオーバーハングや倒木が見られ、不安定な状況にある。保全人家が多く、避難場所も保全対象に含まれるため、早期に対策を行う。	緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:工期3年延長				
						重要性 B	B/C(費用対効果)=2.71				
						効率性 B					
	2億6000万円	199万5千円	4000万円	2億4282万1千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
38	やまざき 山崎 (筑北村)	重力的擁壁工 L=750m 現場吹付法枠工 A=1,8720m2 (工期:H19~H26)	重力的擁壁工 L=100m 現場吹付法枠工 A=250m2	重力的擁壁工 L=100m	重力的擁壁工 L=450m	評価時 (変更) H22	69.3%	H24は重力的擁壁工を実施する。	平成16年10月に斜面崩壊が発生しており、斜面はその後の降雨等により、さらなる崩壊のおそれがあるため、不安を感じる地域の要望があり、早期に対策を進めていく。	重要性が高く、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H22変更:延長450m増、事業費2億円増、工期3年延長 精査の結果、近隣地域を含めた一体の区域として崩壊対策を行う必要が認められたため、計画区間の延伸を行った。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.23				
						効率性 A					
	3億5000万円	3473万6千円	3579万円	1億753万6千円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし。					
39	ちはら 萱原 (長野市)	連続繊維補強土工 L=50m A=2,000㎡ 重力的擁壁工 L=400m (工期:H22~H27)	連続繊維補強土工 L=40m A=1.500m2	重力的擁壁工 L=100m	連続繊維補強土工 L=40m A=500m2 重力的擁壁工 L=400m	評価時 (当初) H22	19.6%	H24は連続繊維補強土工、重力的擁壁工を実施する。	保全対象には人家10戸、避難路となる市道などがあり、H18年には斜面崩落が発生するなど災害履歴もあるため、早急に対策が必要である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24変更:工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=1.24				
						効率性 B					
	3億円	4547万6千円	5000万円	2億4120万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし					

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策			補助・単独別	補助	建設部	砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度末進捗率	進捗状況			
40	ゆやま 湯山 (長野市)	連続繊維補強土工 A=207m ² 吹付法砕工 A=470m ² 重力式擁壁工 L=250m (工期：H21～H26)	詳細設計 1式	連続繊維補強土工 A=207m ² 吹付法砕工 A=470m ²	連続繊維補強土工 L=50m A=200m ² 吹付法砕工 L=100m A=100m ² 重力式擁壁工 L=250m	評価時 (当初) H21	15.2%	計画通り進んでいる。	斜面崩壊により人家に影響が出ているうえ、保全対象として地域の生活道路かつ避難路となる県道を有しているため、早期に対策を行う必要がある。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=5.09				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
41	じぞうだいら 地蔵平 (長野市)	吹付法砕工 L=150m A=6,962m ² 落石防護柵工 L=81m (工期：H20～H25)	吹付法砕工 L=20m A=1,000m ²	吹付法砕工 L=35m A=1,801m ²	吹付法砕工 L=20m A=2,100m ² 落石防護柵工 L=81m	評価時 (当初) H20	72.3%	H24は吹付法砕工を実施する。	保全対象に災害時要援護者施設を擁しており、斜面は倒木が目立つなど不安定な状況にある。早期の対応が必要。	予定工期内での完了を図る。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24変更：工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.95				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
合計	41箇所	112億741万8千円	16億567万8千円	13億5854万4千円	70億82万4千円		A：配点の75%以上 B：50%以上75%未満 C：50%未満				

(様式2B) 個別箇所評価総括表【継続】(要領第5の2(1)関係)

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策	事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策(雪崩対策)				補助・単独別		補助	建設部	砂防課
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
1	ふもと 倉本 (飯山市)	雪崩予防柵工 L=228m (工期:H19~H26)	休止	雪崩予防柵工 L=45m	雪崩予防柵工 L=94m	評価時 (当初) H19	48.3%	H24は雪崩予防柵工を実施する。	平成18年豪雪により、雪崩が発生し既存施設が被災するとともに、山腹は裸地化した斜面となっており、早急な対策が必要である。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 H24:工期1年延長				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=3.89				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
2	まづりかわ 親川 (山ノ内町)	雪崩予防柵工 L=180m 補強土壁工 L=60m (工期:H22~H26)	雪崩予防柵工 L=45m	雪崩予防柵工 L=45m	雪崩予防柵工 L=135m	評価時 (当初) H22	27.3%	計画どおり進んでいる。 雪崩予防柵工を引き続き実施する。	斜面が急勾配で立木もないため、外的影響を受けやすく、H22.2月に雪崩が発生して宿泊客に被害が及ぶなどの被害もあるため、早急に対策が必要な箇所である。	重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=4.56				
						効率性 A	住民参加状況等 特になし。				
3	いおり 伊折 (小谷村)	雪崩予防柵工 L=1,840m (工期:H20~H28)	雪崩予防柵工 L=18m	雪崩予防柵工 L=27m	雪崩予防柵工 L=374m	評価時 (当初) H20	26.8%	計画どおり進んでいる。 雪崩予防柵工を引き続き実施する。	平成18年の豪雪では、斜面で雪崩が発生した。被害はなかったものの住民の不安が増している。地元の協力体制も整っており、早期に対策した。	重要性が高く、緊急性も認められる。	「継続」
						必要性 B	特記事項 特になし。				
						重要性 A	B/C(費用対効果)=2.13				
						効率性 B	住民参加状況等 特になし。				
			4億円	2535万8千円	4060万円	2億9264万2千円	A				

分野	人家等に対する地すべり対策、急傾斜地崩壊対策		事業番号、事業名	14 急傾斜地崩壊対策(雪崩対策)		補助・単独別	補助	建設部	砂防課		
番号	ふりがな 箇所名 (市町村名)	事業内容				項目毎 の評価	事業の実施状況		部意見	政策評価課意見	取組方針
		全体概要	H23年度	H24年度	H24年度以降		H23年度未進捗率	進捗状況			
4	いいだ 飯田 (白馬村)	雪崩予防柵工 L=3,430m (工期:H22~H28)	地形測量 1式 詳細設計 1式	雪崩予防柵工 L=22m	雪崩予防柵工 L=3,430m	評価時 (当初) H22	1.3%	計画どおり進んでいる。	保全対象に人家66戸のほか、避難路である村道がある。たびたび雪崩が発生し、地元からも要望が上がるなど、早期に対策を行う必要がある。	必要性、重要性、緊急性が認められる。	「継続」
						必要性 A	特記事項 H24全体事業費見直し B/C(費用対効果)=1.26				
						重要性 A					
						効率性 A					
		15億円	930万円	4000万円	14億8030万円	緊急性 A	住民参加状況等 特になし				
合計	4箇所	25億円	7982万9千円	1億8060万円	21億4591万6千円		A:配点の75%以上 B:50%以上75%未満 C:50%未満				